

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第40号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成22年5月9日（日） 13時00分ごろ	
発生場所	青森県外ヶ浜町平館港北方沖 平館灯台から真方位001° 2.3海里付近 (概位 北緯41° 12.6′ 東経140° 38.6′)	
事故等調査の経過	平成22年5月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート 武心丸 ^{ぶしん} 、1.6トン	
船舶番号、船舶所有者等	212-14495青森、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士、特定	
死傷者等	なし	
損傷	主機、発電機等が濡れ損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が友人1人を乗せ、平館港北方沖で遊漁中、平成22年5月9日13時00分ごろ、機関室に浸水しているのを認めたので、僚船の側まで移動し、船長及び友人が移乗した。</p> <p>本船は、船首のみが海上に出た状態となったが、僚船にえい航されて平館港に戻った。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2	
その他の事項	<p>本船は、船長が平成22年2月にボート販売業者から購入して4月21日に試運転をし、5月9日が処女航海だった。</p> <p>本船は、ボート販売業者が船外機を増設した際、機関室右舷船尾の上部に貫通ピースを設置し、燃料管、リモコンケーブル等を通したが、貫通部に防水措置が施されていなかった。</p> <p>本船は、シーアンカーを投入し、漂泊して遊漁を行っていたが、船尾から波を受けていた。</p> <p>船長及び友人は、救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、平館港北方沖で遊漁中、機関室右舷船尾の上部に設置された貫通部に防水措置が施されていなかったため、貫通部から機関室に浸水したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、平館港北方沖で遊漁中、機関室右舷船尾の上部に設置された貫通部に防水措置が施されていなかったため、機関室に浸水したことにより発生したものと考えられる。	